

公安委員会定例会議(第25回)の開催状況

第1 日時 令和5年10月3日(火)
午後2時04分 ～ 午後3時35分

第2 出席者 五葉委員長、佐伯委員、小野委員
本部長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、刑事部長
交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 五葉委員長説示

本日は、平成29年7月に神戸市北区において発生した殺傷事件で殺人などの罪に問われ、1審の神戸地方裁判所で無罪判決を受けた被告の控訴審判決を御紹介します。

本事件は、被告が“専門学校の同級生であった女性以外の存在を倒せばその女性と結婚できる”といった妄想や幻聴にとらわれ、被告と同居していた祖父母や近所の女性など5人を殺傷したというものです。

1審、2審とも、起訴事実の内容に争いはなく、被告の刑事責任能力の有無が争点となり、鑑定医2人が意見を述べました。被告と11回の面接を重ねて鑑定書を作成した鑑定医は、「犯行は統合失調症によって行われたもので、被告に責任はない」と心神喪失を主張したのに対し、検察側は、「被告には妄想を疑う力があつた」と、もう1人の鑑定医の意見を踏まえて心神耗弱を主張し反論しました。

2審の大阪高等裁判所は、心神耗弱を主張した鑑定医と被告との面会が1回5分であった点について、「心神耗弱を主張した鑑定書はあまりにずさんである」と指摘した上で、「11回の面接を重ねた鑑定書は合理的であり、この鑑定書の信用性を1回の面接しかしていない鑑定書で否定することはできない」などと一審判決を支持し、検察側の控訴を棄却しました。

ただし、被告人は無罪になったものの、科学的にどの程度統合失調症に侵されてきたのかははっきりとしていません。

精神保健福祉法第23条は、警察官が精神障害のために自傷他害のおそれがある人を発見した場合の通報義務を規定していますが、精神疾患を抱える患者の人権に配慮した慎重な運用も求められており、重大事件が発生するたびに問題になります。本県においても、令和3年10月に発生した新居浜一家3人殺害事件において、警察と保健所の連携や対応の在り方をめぐる報道がなされました。非常に難しい問題ですが、警察は人権への配慮と犯罪の未然防止とのバランスに配慮しつつ適切な対応に努めていただきたいと思えます。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和5年第24回公安委員会定例会議の会議録について伺

いがあり了承した。

- (2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答
総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。
- (3) 犯罪被害者等給付金（遺族給付金）支給裁定
総務室から、犯罪被害者等給付金（遺族給付金）支給裁定について伺いがあり了承した。
- (4) 犯罪被害者等早期援助団体の規則に基づく書類提出
総務室から、犯罪被害者等早期援助団体の規則に基づく書類提出について伺いがあり了承した。
- (5) 審査請求の申立て
警務部から、審査請求の申立てについて伺いがあり了承した。
- (6) 指定自動車教習所に関する報告
交通部から、指定自動車教習所に関する報告について伺いがあり了承した。

3 報告事項

- (1) 警察署における自動音声ガイダンスの試行運用
警務部長から、警察署における自動音声ガイダンスの試行運用について報告があった。
委員から、「自動音声ガイダンスに戸惑う人も少なくないので、利便性を事前に広く周知するなど、混乱が生じないように運用していただきたい」との発言があった。
委員から、「何度も同じ説明を繰り返す必要がないことから、自動音声ガイダンスの運用は良い試みだと思う」との発言があった。
委員から、「民間企業等ではかなり以前から取り入れており、これまでなかったのが不思議なくらいであるが、適切な運用により業務の効率化にもつながるので、進めていただきたい」との発言があった。
- (2) 第41回勲章伝達式の開催
首席監察官から、第41回勲章伝達式の開催について報告があった。
- (3) 令和5年度上半期の災害警備訓練実施状況
警備部長から、令和5年度上半期の災害警備訓練実施状況について報告があった。
委員から、「自然災害においては近年、想定外という言葉聞くことが多く、50年に一度の大雨が年に2回発生することも珍しくない。自然災害による被害は人が確実に予測することはできない。警察は、消防、自衛隊との連携深化に努めるとともに、訓練を通して練度を向上させ、災害が発生した場合には救出救助を始めとする災害活動を適切に実施していただきたい」との発言があった。
委員から、「実践的な訓練は、いろいろな課題を発見・確認できることから非常に重要である。南海トラフ地震も現実的な脅威となっており、災害で犠牲者を出さないように各種対策に取り組んでいただきたい」との発言があった。
委員から、「災害警備訓練の重要性は年々増しており、警察、消防、

自衛隊3者による救助活動は非常に重要であるため、今後も様々な訓練に励んでいただきたい」との発言があった。

(4) 令和5年度中国四国管区内警察柔道・剣道大会の結果

警務部から、令和5年度中国四国管区内警察柔道・剣道大会の結果に関する報告があった。

4 その他

本部長から、「委員説示で、殺傷事件の控訴審判決に関するお話をいただいた。精神疾患が疑われる方々への対応は、精神保健福祉法の規定を踏まえつつ、慎重かつ適切に運用する必要がある。今回、世間の耳目を集める判決が出たことから、この機会に判決内容や全国警察の取扱い事例等を確認し、今後も県警察としてこの種事案にしっかりと対応できるように各部門を指導してまいりたい」との発言があった。

以上